

福井連協たより

2018年7月1日：発行
JP労組福井連協退職者の会
<福井連協幹事会>

JP労組福井連協退職者の会「第4回定期総会」 <2018年8月19日(日)10:00~ 於：「アオッサ」> 2018年度活動計画(案)



1. はじめに

2017年8月20日にJP労組退職者の会福井連協はアオッサで第3回総会を開催し、計画に基づいた活動を展開し概ね達成できたものと幹事会で了承しています。本総会は基調総会で向こう2年間の目標を立てることが任務となっています。

- (1) 1本目の柱は2019年4月に行われる統一地方選挙で組織内候補の『西畠ちさよ県会議員』の勝利、及びJP労組が推薦した各級地方議員の勝利、2019年7月に行われる第25回参議院選挙で出馬する組織内候補予定者『小沢まさひと氏』の勝利です。
- (2) 2本面の柱は、会員の親睦と交流を堅持することです。具体的には『おもてなしイベント』の成功と支部レクリエーション活動の促進です。
- (3) 3本面の柱は会員の拡大です。拡大幹事会を開催して支部、連協が協力して現会員の10%増を目指します。
- (4) 4本目の柱は慶弔関係給付を最寄りの支部役員が手渡してお渡しすることです。弔慰金においても同様の扱いとします。

以上、4本の柱を各支部の協力はもとより現役支部役員の協力をいただきながら組み立て、会員が楽しいと思える退職者の会、現役の方々が退職したら加入したいと思える退職者の会作りを目標に取り組んでまいります。

2. 具体的な行動展開

(1) 親睦と交流について

- ① 会員相互の親睦と交流を基本に連協レクはもとより各支部にも開催を促し親睦と交流が深まるよう指導します。
- ② 連協は前年に引き続き『おもてなしイベント』を支部との協賛で開催します。今年度は東部支部の番で当該支部と相談しながら2019年度内の開催を協議します。東部支部で一巡しますので再来年以降は幹事会で継続か否か検討してまいります。なお、東部支部には助成金（準備支度金）を交付します。
- ③ 支部も独自の楽しいイベント等を企画して、会員相互の親睦と交流に努めることを促します。助成金は前年同様の金額を交付します。
- ④ 連協イベント、支部イベントは現役にも声をかけ現退の意思疎通向上に努めます。

(2) 会員拡大の取り組み

会員の高齢化を支えるのは新会員の加入拡大しかありません。米寿会員は会費が免除になることから財政的にも厳しくなります。そのために魅力ある退職者の会を形成していくことが私たちに課せられた使命となっています。

定年を迎えたJP現役組合員は年金受給の関係で65歳まで再雇用または期間雇用者として働きます。そのような60歳～65歳の方々を協力会員として県内60人が登録されています。そのような協力会員を現役支部役員に協力を仰ぎながら仲間になっていただくことが当面の拡大方策となっています。

- ① 連協幹事会で協議したうえで各支部に拡大期間と目標を設定します。
- ② 拡大交付金1,000円は自払い申込書等が連協に届いた段階で交付します。
- ③ 新会員の会費は次年度から自払い徴収することにします。
- ④ 連協幹事会と支部幹事会を合同で行う拡大幹事会を開催し情報の共有化をはかります。

(3) 政治活動の取り組み

郵政民営化と引き換えに約束した経営の自由化が反故になっています。政治でしかこの種の問題を解決するすべがありません。現役の方針に従って組織内議員を国会へ送ることが郵便局OBとして貢献だと考えています。

一方、地方でも組織内議員をはじめとして、JP労組が推薦する統一地方選挙の候補者を当選させる協力をしなければなりません。

- ① 『小沢まさひと』中央本部副委員長の後援会活動を展開してまいります。
- ② 『西畠ちさよ』福井県議会議員の後援会活動を展開してまいります。
- ③ JP労組が推薦した統一地方選挙候補者の後援会活動を支援します。
- ④ 支持政党については、現役JP労組と歩調を合わせてまいります。

(4) 平和活動の取り組み

平和を望まない方は誰もいません。現役JP労組や退職者連合と歩調を合わせ署名等の要請があれば応えてまいります。

(5) 福井県退職者連合との連携

福井県退職者連合は例年5月の親睦旅行、10月のマレットゴルフ大会、労福協協賛の研修会、11月に総会が開催されます。親睦旅行やマレットゴルフは北陸会報等で周知し参加を促します。研修会や総会は参加定数が決まっていますので連協幹事会で対応します。

マレットゴルフの参加費(1,000円)は連協で負担します。総会や研修会の旅費等は従前どおり連協負担とします。

(6) 各種共済の取り組み

JP共済や共済生協には常日頃からご協力をいただいています。幹事会や連協イベントの際には退職者でも加入できる商品の説明をしていただいています。共済制度は相互扶助が基本となっているので今後も引き続き連携をはかってまいります。

(7) 北陸会報で情報提供

福井連協の情報は『JP労組北陸退職者の会会報および福井連協たより』で提供してまいります。今後も連協や退職者連合の行事の周知は北陸会報で行い参加者を促してまいります。各支部の行事等情報も北陸会報に掲載して共有化をはかります。

(8) 慶弔等の手渡し継続

喜寿・米寿のお祝い金は最寄りの支部役員が手渡しでお届けすることにして大変喜ばれています。今後も引き続き手渡しを実施します。該当支部には予め対象会員の情報を支部会長と支部事務局長にお知らせします。慶弔金は事前に支部口座へ振り込みます。

《JP労組福井連協退職者の会「第4回定期総会」の案内》

1. 日時 2018年8月19日（日）午前10時～
2. 場所 アオッサ
3. 協議事項
 - (1) 2017年度活動経過報告、2017年度会計報告・会計監査報告
 - (2) 2018年度活動計画（案）、2018年度予算（案）
 - (3) 役員改選（案）
4. 総会構成員
支部代表者、連協幹事、会計監査、現役代表（連協及び支部代表）



会員のみなさまへ

JP労組福井連協退職者の会
会長 山本 忠

「小沢まさひと」後援会への加入および紹介活動について会員のみなさまにお願い申し上げます。

JP労組中央本部は、本部副委員長である「小沢まさひと」を次期参議院議員選挙の組織内候補者として擁立を決めました。退職者の会としても老後の生活において年金、医療・介護制度などで政治との関わりが多いこと、郵政グループの生々発展に政治の関わりがまだ多いことから「小沢まさひと」を国政に送り出すための後援会活動を積極的に推し進めています。

4月1日発行の北陸退職者の会会報で既に①後援会パンフレット、②後援会加入届カード、③返信用封筒——をお送りしましたが、福井連協の加入活動が最下位の状況です。

何卒、本活動の趣旨をご理解の上、7月20日までに後援会加入・紹介カードの提出をお願い申し上げます。

活動報告

一乗谷朝倉遺跡で歴史散策

福井連協（山本忠会長）は福井支部（山崎治幸会長）の協力で恒例になった『おもてなしイベント』を47人の参加者を集めて開催しました。一乗谷朝倉遺跡は永平寺に次ぐ名称旧跡でテレビコマーシャルで一躍有名になりました。美味しいランチをいただきながら親睦と交流を深めました。福井支部では1年前から何回も朝倉遺跡の下見をしたそうです。地元のガイドを付けて、改めて福井の歴史を実感しました。他には遺跡博物館や石仏を鑑賞するなど普段目にすることができない場所にも案内していただきました。ランチは水の駅が定休日なので貸し切り状態。福井支部会員が経営しているレストランでカツ丼とお蕎麦セットをいただき、買い物もできて満足度100%。おおむね午後3時には再会を約束して解散しました。特別参加で坂本哲治北陸会長、組織内県会議員の西畠ちさよさん、高村共済生協地方部長、内田連協議長が参加されました。来年の『おもてなし』は東部支部で梅田喜美子会長は色々と計画していることを明らかにしました。



福井県退職者連合行事に参加して 「日光東照宮の歴史に感激」

5月28日～29日、福井県退職者連合は、恒例の親睦交流会バスツアーを開催し、JP労組福井連協退職者の会からも山本会長をはじめ8人の会員が参加しました。福井県全域から参加者が集合するので嶺南の参加者は午前5時頃にバスに乗ったそうです。午前7時頃福井駅東に集結し産別ごとに乗り換えて、日光東照宮に向けて600キロの道程を北上しました。宿泊地は鬼怒川温泉で大宴会。翌日は改修したばかりの日光東照宮を観光ガイドに案内されて参拝し、江戸時代の歴史に感激しました。連合退職者の親睦交流会は年々参加者が増えています。今回の参加者は来年の再会を約束して午後8時頃方面別のバスに乗り換えて散会しました。退職者連合では9月にも松岡河川公園で恒例の『マレットゴルフ大会』が開催されます。参加を希望される方は各支部役員に申し出てください。

「政所副会長」